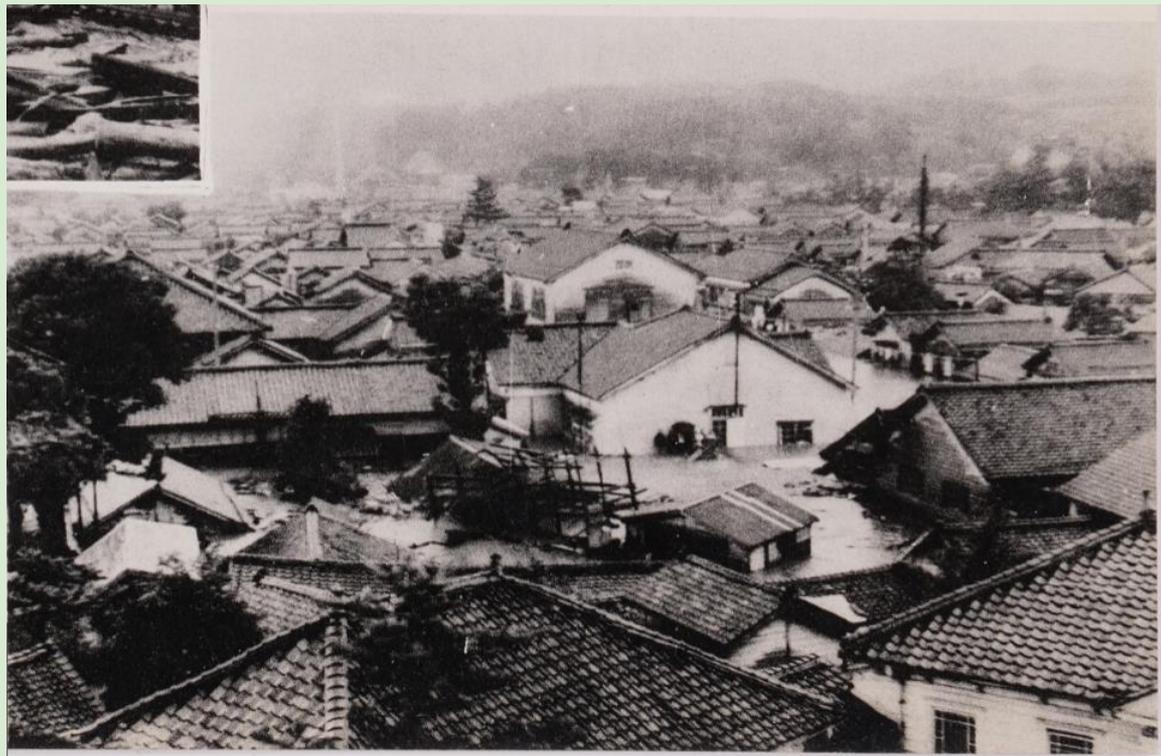


# 地域に伝わる災害の記憶 私たちが残す災害の記録

辰巳勝 津幡町立笠野小学校 校長  
宮田諭志 成城学園初等学校  
原 有樹 石川県立図書館  
乾 理加 公共図書館  
西浦 富美子 同志社大学等

# わたしのまちの水害の記憶を探ろう



輪島市大水害絵葉書 第1輯・AMANE Archives・OurArchives ([amane-project.jp](http://amane-project.jp))

# わたしのまちの水害の記憶を探ろう



# わたしのまちの水害の記憶を探ろう



# わたしのまちの水害の記憶を探ろう

国土交通省国土地理院 自然災害伝承碑（洪水）

[https://maps.gsi.go.jp/#8/37.653383/136.625977/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster\\_lore\\_0&disp=11&](https://maps.gsi.go.jp/#8/37.653383/136.625977/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster_lore_0&disp=11&)

[lcd=disaster\\_lore\\_0&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0](https://maps.gsi.go.jp/#8/37.653383/136.625977/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster_lore_0&disp=11&lcd=disaster_lore_0&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0)



水害の伝承碑は石川県内に4基ある。  
1896年、1934年、1945年、  
1959年の水害の記憶を伝えている。  
(2023年11月5日現在)

水害記念

災害名	昭和9年手取川大洪水 (1934年7月11~12日)
災害種別	洪水
建立年	1994
所在地	石川県能美市粟生町
伝承内容	昭和9年(1934)7月10日から降り続いた雨は手取川上流域で460mmに達し、11日未明に鉄砲水が下流域を襲った。旧粟生村では堤が決壊して家屋11棟が流失、全戸が浸水、田畑は石原となった。翌12日には宮竹用水へも濁流が流れ込み、村は孤立した。白山一帯の山々では残雪が多く、梅雨明けの豪雨で融雪を早めたことが被害を拡大させ、明治29年(1896)を上回る規模となった。

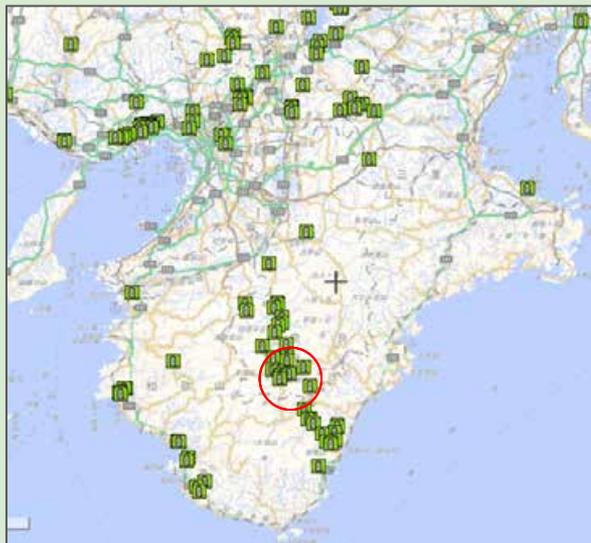
ID:17211-001

# わたしのまちの水害の記憶を探ろう

国土交通省国土地理院 自然災害伝承碑（洪水・土砂災害）

十津川村（奈良県）

[https://maps.gsi.go.jp/#10/34.235648/135.741577/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster\\_lore\\_1&disp=11&lcd=disaster\\_lore\\_1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0](https://maps.gsi.go.jp/#10/34.235648/135.741577/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster_lore_1&disp=11&lcd=disaster_lore_1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0)



紀伊半島大水害警戒碑(十津川村野尻)

概要	
碑名	紀伊半島大水害警戒碑(十津川村野尻)
災害名	紀伊半島大水害 (2011年9月3~4日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	2014
所在地	奈良県吉野郡十津川村大字野尻
伝承内容	平成23年(2011)9月3日の紀伊半島大水害により、対岸の深層崩壊による土石流が、満水状態となっていた河川に入り流れを変え、この場所にあった村営住宅2棟を飲み込んだ。居住者など3世帯8人の尊い命が失われた。

ID:29449-008

A photograph of the memorial stone for the Ise Peninsula Great Flood Warning Monument (Tenjūgawa Village Nojiri). The stone is black with white text and is set in a concrete base.

# わたしのまちの水害の記憶を探ろう

国土交通省国土地理院 自然災害伝承碑（洪水・土砂災害）

豊能町（大阪府）

[https://maps.gsi.go.jp/#14/34.929360/135.493526/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster\\_lore\\_all&disp=11&lcd=disaster\\_lore\\_all&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0](https://maps.gsi.go.jp/#14/34.929360/135.493526/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster_lore_all&disp=11&lcd=disaster_lore_all&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0)



瀧本訓導殉職之地	
災害名	阪神大水害 (1938年7月5日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	不明
所在地	大阪府豊能郡豊能町野間口
伝承内容	昭和13年(1938)7月5日の大雨で、野間口では山地が崩壊、岩石・土砂・立木が流出し、道路・家屋を押し流した。旧東能勢村では9名が亡くなった。この9名の中には尋常高等小学校の先生が含まれており、担任児童一家の救助に向かい殉職された。
制限事項	

ID:27321-001

# わたしのまちの水害の記録

津幡町立笠野小学校区

2023年（令和5年）7月

石川県河北郡津幡町笠野地区

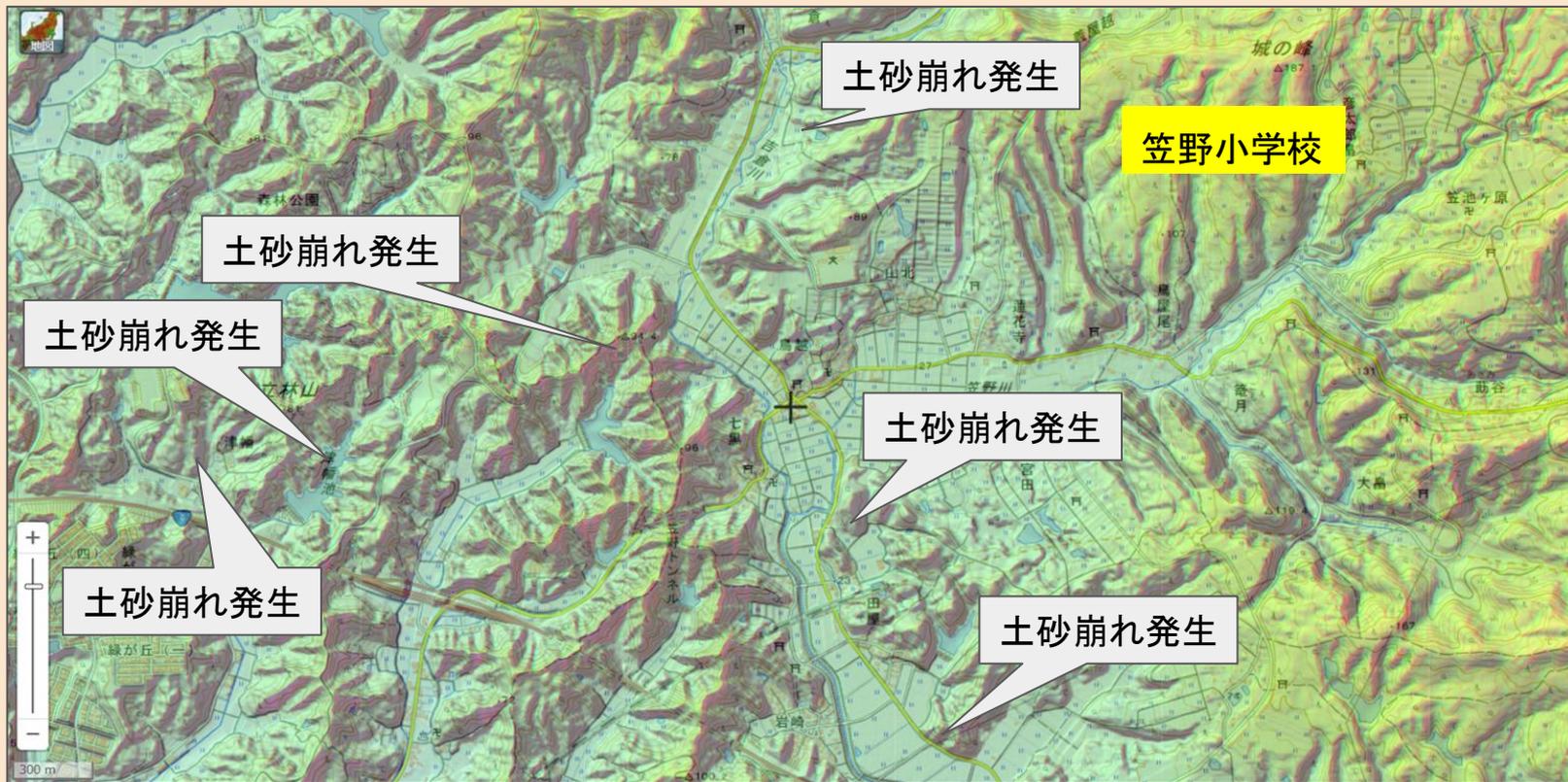
7月12日夜中から13日明け方の大雨により多数の土砂災害と浸水被害  
学校に向かう3つのルートが土砂崩れですべて寸断された。

13日14：00頃ようやく学校がある地区に入ることができ、悲惨な状況を見る  
ことになった。

地区の方に話を伺うと「生まれてこの地区にずっと住んでいるが、こんな水害は記憶  
にない」とかなりの高齢者（60～70代）が話していた。

複数の児童が住む地区で浸水被害にあった家とそうでない家があり、  
僅かな高低差や川と家屋との位置関係で被害状況が随分変わることには驚かされた。

# 津幡町笠野地区の土砂災害のようす 2023年7月



「地理院地図(電子国土Web)」 (国土地理院)

[https://maps.gsi.go.jp/#15/36.685876/136.773534/&base=std&ls=std%7Canaglyphmap\\_color&blend=0&disp=11&lcd=anaglyphmap\\_color&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0](https://maps.gsi.go.jp/#15/36.685876/136.773534/&base=std&ls=std%7Canaglyphmap_color&blend=0&disp=11&lcd=anaglyphmap_color&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0)をもとに作成

# わたしのまちの水害の記録

## 河川の氾濫

●2008年(平成20年)7月27日・28日

金沢市の浅野川上流部の芝原地内において、3時間雨量251mmを観測し、浅野川が55年ぶりに氾濫した。全壊2、半壊9、一部損壊7、床上浸水507、床下浸水1486の被害が発生した。

●2022年(令和4年)8月4日

梯川流域における豪雨災害については、小松市内を貫流する梯川だけでなく、中小河川である滓上川からも越水。その浸水域は、洪水ハザードマップとほぼ一致しており、地域の危険性をハザードマップ等で確認しておくことの重要性が認識された。

# わたしのまちの水害の記録

豊能町（大阪府）

●1896年（明治29年）8月30日

前日から雨が降り、8月30日夜に暴風雨となる。家は倒れ、山は崩れ、樹木は折れ、河川は全て氾濫した。辺りは洪水となり、田は荒れ野となり、たくさんの橋が流された。

●1938年（昭和13年）7月5日

大雨の中、子どもを助けようとした小学校教員が余野川の水にのまれ亡くなった。

「瀧本訓導殉職之地」と書かれた災害伝承碑が残されている。地域の方は、「川の水が溢れるというより、土砂が水といっしょに流れてきた」と話す。

※参考資料『東能勢村誌』復刻版 豊能町教育委員会 1992

『わたしたちのまちとよの』豊能町社会科副読本編集委員会編集 豊能町教育委員会 2021

『輝く銀杯』 齋藤弔花著 滝本訓導顕彰会 1939

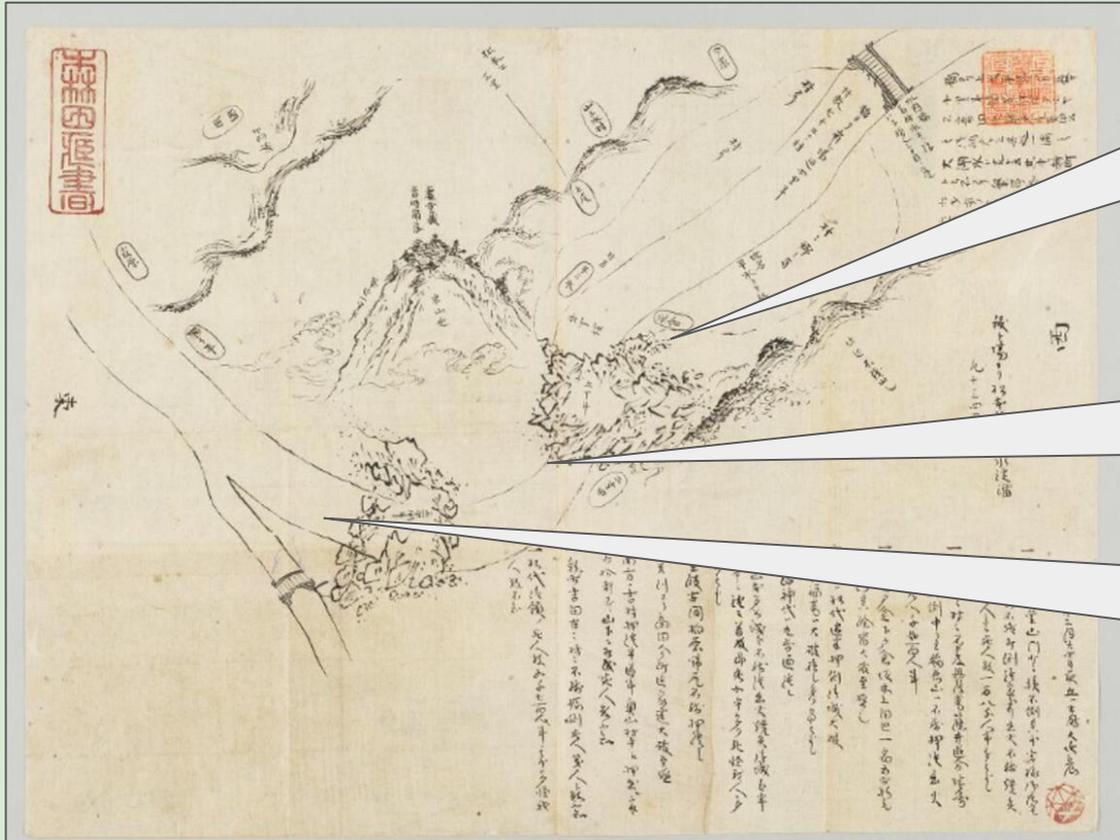
# 能登半島地震

平成19年3月25日、能登半島沖を震源とするM6.9の地震が発生し、石川県能登半島を中心に七尾市、輪島市、穴水町で最大震度6強、志賀町、中能登町、能登町で震度6弱、珠洲市で震度5強、羽咋市、かほく市、宝達志水町震度5弱、加賀地方でも震度4～3を観測した。

その結果、住宅全壊が686、半壊1,740等の県政史上、未曾有の大災害となった。能登半島地震の被害の詳細については、下記URLより。

[https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai\\_g/notohanto\\_eq/kirokushi/documents/honpen2.pdf](https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai_g/notohanto_eq/kirokushi/documents/honpen2.pdf)

# 過去の震災ではどのような被害が出たのだろうか？



川が途中でとぎれているところがあるよ？ということだろう。

山から土砂崩れが起きているのではないかな。

ここでも土砂崩れが起きているよ。最近でも土砂崩れが起きているから、わたしたちの地域では気を付けないといけない。